令和６年度 重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立中田中学校

具体的な達成目標

【重点目標】　「互いのよさを認め学び合い、主体的に活動する生徒の育成」

◇目指す生徒像
- 自ら考え、自ら学ぶことができる生徒
- 相手のことを考えて行動できる生徒
- 心身を鍛え、困難を乗り越えることができる生徒
- 物事に主体的に取り組むことができる生徒

◇具体的な達成目標　（実態調査から）

Ａ【互いのよさを認め学び合う】

①自他ともに多様な意見や考えを尊重し、学び合う生徒	７５%以上
②自分のよさや他人のよさに気付き、伝え合い、認め合う生徒	９０%以上
③思いやりのある言動を心がけ、助け合い、協力して活動する生徒	９０%以上

Ｂ【主体的に活動する】

①進んで挨拶し、時間を守る生徒	８５%以上
②学習の仕方を工夫し、自主的・継続的に取り組む生徒	７５%以上
③行事や生徒会活動に主体的に取り組む生徒	８５%以上

前年度

○　今年度の重点課題設定について

昨年度は、「互いのよさを認め伝え合う」については、3項目全てにおいて、目標値を達成した。今年度は、さらに互いを尊重したり、よさを認め合ったりする活動を工夫し、学び合い、高め合える環境をつくり、学力向上につなげたい。学校行事、生徒会活動等において生徒の主体性を生かした活動に取り組ませ、成功体験を味わわせるとともに、その活動を認め励ますことを通して生徒のやる気を育てたい。。

行動Ⅰ

Ａ【互いのよさを認め、学び合う】

①「分かる」「できる」授業に努めるとともに、多様な意見や考えを尊重し、自分の考えを表現しながら、学び合う活動を工夫する。

②授業や学校行事、生徒会活動等において、自己有用感を高められるよう、互いのよさを伝え合い、認め合う機会を設定する。

③思いやりのある言動を心がけ、仲間と助け合い、協力して活動するよう指導する。

Ｂ【主体的に活動する】

①教師自らが挨拶し、時間を守るなど率先垂範しながら生徒に指導する

②学習の課題の出し方を工夫し、学習方法や時間の使い方を自己調整させるよう、工夫する。

③主体的に生徒会活動等に取り組ませるよう工夫し、生徒の活動を認め励まし、成就感を味わえるようにする。

中間評価

中間評価
- 前期の学校評価（教師、生徒、保護者）を実施する。
- 評価結果（成果、課題等）を分析し、具体的な改善策を検討する。
- 学校評議員会(10月)で評価結果を提示し、改善策について協議する。
- 評価結果は、学校だよりや保護者会等で提示する。

行動Ⅱ

Ａ【互いのよさを認め学び合う】

①②③は継続

④　教育活動全般において、互いのよさを伝え合い、認め合い、学び合う機会を増やす。

⑤　SDGsと関連させて、積極的に地域環境美化に協力し、自己有用感を味わわせる。

Ｂ【主体的に活動する】

①②③は継続

④　学習課題の出し方等について教師自身が評価し改善を図る。

⑤　行事や生徒会活動における望ましい態度や行動を称賛したり感謝の言葉がけをしたりすることで、自己有用感の向上を図る。

年度末評価

年度末評価
- 後期の学校評価（教師、生徒、保護者）を実施する。
- 評価結果（成果、課題等）を分析し、次年度の具体的な改善策を検討する。
- 学校評議員会（２月）で評価結果を提示し、改善策について協議する。
- 評価結果は、学校だよりやＨＰで提示する。

次年度

次年度に向けてのアクションプランの作成

目標を達成できた内容についてはより高い段階へ、達成できなかったものについては内容を吟味し、次年度の目指す生徒像を共通理解して、アクションプランを作成する。